

WILLIAM SHAKESPEARE'S

# MUCH ADO ABOUT NOTHING



[ACT III.—SCENE 1.]

*Enter.* So angle we for Beatrice; who even now is couched in the woodbine coverture.

Arist:Reginald T.Sperry(1845-?)

Presented by the International Theatre Company, London

Kobe Women's University, Suma: Tuesday 24 May 2011

Opening Time: 17:30 Performance: 18:00 to 21:00

Admission is free

Sponsored by the Department of English, Kobe Women's University

2011年度 神戸女子大学(英語英米文学科)主催

—英語演劇鑑賞のタベ—

インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン公演

『から騒ぎ』 (*Much Ado About Nothing*)

2011年5月24日(火曜日) 午後5時30分開場 午後6時開演

入場料無料

会場:神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホール

後援:学校法人行吉学園神戸女子大学、神戸女子大学教育後援会、神戸女子大学同窓会、ブリティッシュ・カウンシル  
協力:アシュリー・アソシエイツ

問い合わせ:神戸女子大学英語英米文学科(受付窓口等詳細はチラシの裏面を参照して下さい)



## 『から騒ぎ』

(Much Ado about Nothing)  
について

題名の*Much Ado about Nothing*は「何でもないことで大騒ぎする」という意味の慣用句として使われるが、日本語では「から騒ぎ」と訳される。この作品の指す「大騒動」というのは、一方でベネディックとベアトリスとの間で交わされる言葉の騒動を指し、また、他方ではドン・ジョンの陰謀によって引き起こされる大騒ぎを指す。またクローディオとヒーロー、ベネディックとベアトリスの二組のカップルは、ドン・ペドロによる縁結びがあつて結ばれる。これらすべてが作品の「騒動」ならぬ「から騒ぎ」となっている。

## 《あらすじ》

悪巧みにだまされて婚約者が不実だと思い込んでしまった若者が、純真無垢な恋人を婚礼の席で罵倒し婚約を解消してしまう。娘はその侮辱に耐え切れず、死んだように倒れてしまう(死んだということにされる)が、やがて誤解が解け、悔い改めた若者と娘はめでたく結ばれる。

しかしそれよりも、それぞれに男嫌い、女嫌いと言言してはばからないベアトリスとベネディックが、激しい舌戦を繰り返しながら、周囲の人々の策略があつたとはいえ、次第に惹かれあい結婚に至るといふ脇筋の方が劇を決定的に支配している。同じ性格を持つゆえに反発しあっていた二人の愉快的言葉遊びが魅力の恋愛喜劇。

劇は、アラゴン大公ドン・ペドロの一行がシチリア島のメッシーナに凱旋してくるところから始まる。彼に従うフローレンスの若い貴族クローディオはメッシーナの知事レオナートの娘ヒーローに一目ぼれし、結婚の約束を交わす。ところが、この幸せを喜ばぬ者がいた。大公の異母弟で大公の一行に恨みを持つドン・ジョンは、「ヒーローにはすでに男がいる」と大公とクローディオにうそを吹き込む。結婚式の前夜、ヒーローの身代わりを使って、彼女が逢引きをしているように見せかけた計略は成功し、結婚式の当日、クローディオは婚礼客の前でヒーローを罵倒し、彼女の愛を拒絶する。ヒーローは驚きと苦痛から気絶するが、居合わせた人々は彼女が死んだと思う。

ドン・ペドロに従うもう一人の青年貴族ベネディックは頑迷な独身主義者、また彼と同じくらい男性や結婚を拒否するベアトリス、この二人にもドン・ペドロの巧みな仕掛けが仕込まれる。ベネディックとベアトリスの女嫌い、男嫌いが強気を装った見せかけにすぎず実は二人が愛し合っていることを察知した周囲の人々が、それとなく二人が互いの本当の想いに気付くように策を講じる。この術策にはまった二人は主義を曲げ、相手の愛を受け入れることになる。

一方、やがてドン・ジョンの悪巧みが暴かれ、ヒーローの無実も晴れる。赦しを請うクローディオに、ヒーローの父親レオナートは和解の条件を提案する。その条件とはヒーローの潔白を世間に知らせること、ヒーローの墓前に哀悼の歌を捧げること、ヒーローの瓜ふたつの姪と結婚することであった。クローディオは条件を受け入れ、その女性と結婚することに同意する。

クローディオが結婚式のためにレオナートの屋敷に到着すると、レオナートは、「これがあなたの妻になる人です」と仮面をつけた女性を彼に与える。クローディオが愛の誓いをし、その女性が仮面をはずすと、死んだと思っていたヒーローがそこにいた。喜び沸き立つ二人に加え、ベネディックもまたベアトリスに求婚する。二重の喜びにあふれる一同のもとに、捕らえられたドン・ジョンが逮捕され、舞台に引き出されて幕。

## インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL) について

ITCL (International Theatre Company London) は1980年にポール・ステッピングズによって結成された劇団。創立以来ポール・ステッピングズが役者のみならず芸術監督、演出家、脚本家として劇団の中核を担う。1992年に初来日。好評を博し、以来、文芸作品とシェイクスピアを中心に春季と秋季に日本公演を続けている。創作戯曲『ジャズの魔法使い』(The Wizard of Jazz) は1990年ミュンヘンビエンナーレ演劇祭で最優秀創作戯曲賞(イブニングスター賞)を獲得、1996年にはギリシャのミュージック・フェスティバルにおいてITCL脚色の『白鯨』(Moby Dick) が優秀作品として選ばれた。

## 『から騒ぎ』公演日時・場所・問い合わせ

- 場所: 神戸女子大学須磨キャンパス体育文化ホール
- 日時: 2011年5月24日(火曜日)  
午後5時半開場・午後6時開演(午後9時終了予定)  
\* 終了時間が遅いため、終了時間に合わせて当日大学では大学から須磨駅までマイクロバスをチャーターします(無料)。JR、山陽電車をご利用の方、どうぞご利用ください。
- 問い合わせ: 神戸女子大学英語英米文学科  
TEL.078-737-2320  
e-mail: fujijo@suma.kobe-wu.ac.jp
- 問い合わせ曜日: 4月11日(月曜日)~ 5月20日(金曜日)
- 問い合わせ時間: 月曜から金曜まで(時間: 10:00~16:00)

## 神戸女子大学須磨キャンパスへの来校の仕方 (How to Get to KWU)

